

初期臨床研修医募集

和歌山労災病院

病院の理念

地域の人々と勤労者に、
地域医療機関と密接に連携しつつ、
安全に十分配慮した先端的医療を提供する。



開設者名： 独立行政法人労働者健康福祉機構 理事長 武谷 雄二
病院長名： 南條 輝志男
住所： 640-8505 和歌山市木ノ本93番1
電話： 073-451-3181
FAX： 073-452-7171
ホームページ： <http://www.wakayamah.rofuku.go.jp/>
アクセス： 南海加太線 八幡前駅より徒歩5分 南海本線 和歌山市駅より車で20分 JR 和歌山駅より車で30分

診療の特徴、実績

- 303床の中規模病院ながら循環器科等20診療科を持ち、地域医療支援病院としての地域医療に貢献。
- 女性診療科、脳神経血管内治療センター、脊椎センター、アスベスト疾患センター、糖尿病センター等高度な勤労者医療の提供。
- 和歌山県立医科大学臨床教授5名を有し、初期臨床研修のみならず、充実した後期3年間の臨床研修プログラムによる新卒医師研修の実施。
- 平成21年1月に新築・移転。平成22年度よりICU稼働。

協力型病院

和歌山県立こころの医療センター(精神科のみ)
和歌山県立医科大学附属病院(全科)
日本赤十字社和歌山医療センター(全科)
和歌山生協病院(全科)
橋本市民病院(全科)
国保日高総合病院(全科)
独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター(全科)
紀南病院(全科)
新宮市立医療センター(全科)

協力施設

河西田村病院、西和歌山病院、宇治田循環器内科、オレンジクリニック木村耳鼻咽喉科、北山健医院、夏見整形外科、ひまわり小児科クリニック、みなかた内科、那智勝浦町立温泉病院

状況、待遇

図書室:	あり
インターネット利用環境の有無:	インターネット利用可
インターネット利用環境(場所):	医局、図書室
研修医専用机や控室の有無等:	医局に研修医個人の机とロッカー有り
学会、研究会への参加費用支給:	なし(病院長が承認した場合は支給可)
評価法:	EPOC による評価方法
研修医当直回数(月あたり):	3~4回
当直手当:	あり(実労働分の時間外賃金と別に当直手当を支給)
当直時の勤務体制(研修医以外の当直医数):	研修医以外の当直医数 3人
当直時の勤務体制(当直研修医数):	当直研修医数 1人
勤務体制:	翌日8時15分までの勤務。実労働時間により翌日休養付与。
給与	
一年次:	基本給 350,000円/月 諸手当別途支給 (時間外勤務手当、宿日直手当、待機勤務手当、通勤手当、休日給)
二年次:	基本給 360,000円/月 諸手当別途支給 (時間外勤務手当、宿日直手当、待機勤務手当、通勤手当、休日給)
公的医療保険:	あり・健康保険組合
公的年金保険:	あり・厚生年金・厚生年金基金
労働災害補償保険:	あり
宿舎の有無(単身用):	あり
宿舎費(単身用):	無料
宿舎の有無(単身用)備考:	バス・トイレ付き。
宿舎の有無(世帯用):	あり

宿舎費(世帯用):	無料
宿舎(世帯用)備考:	バス・トイレ付き。空室がある場合のみ入居可。
宿舎と病院の距離:	800m
移動手段と所要時間:	徒歩5分
研修医の主な出身大学:	大阪市立大学、鳥取大学、金沢医科大学、産業医科大学
研修終了後の進路:	さらに後期研修プログラムにより3年間の研修が可能
募集定員:	2人(管理型)
病院見学実施時期:	随時実施しております。電話もしくはメールにてご相談ください。

応募方法・試験概要

申込締切日:	平成27年8月10日
試験実施日:	平成27年8月11日
応募資格:	平成28年第110回医師国家試験受験予定者
提出書類:	健康診断書(大学発行のもので可) / その他(履歴書、卒業(見込)証明書)
試験内容:	面接のみ

担当課、担当者名:	総務課 総務課長 竹村(たけむら)、上野(うえの) TEL 073-451-3181(内線 3310) E-mail info@wakayamah.rofuku.go.jp 住所 〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93-1
-----------	--

(臨床研修委員長より)

医学生の皆さまへ

当院は300床と、一般的な中核病院の規模ですが、各専門科は十分そろっているためプライマリーケアレベルの一般診療や救急診療から、専門診療まで広範囲に学べる環境であります。そして、各科の垣根が低く、いろいろな科の指導医に相談しやすいため、各科の枠を超えた基本診療を習得することが出来るメリットがあります。当然、薬剤部、栄養管理部、リハビリテーション、MEなどとのコメディカルスタッフとも信頼関係が高く連携がとりやすい環境ですのでチーム医療の大切さを実感できるものと思います。

皆さんが、今後いかなる専門に進まれたとしても基本的な General medicine の診療能力と学び続ける姿勢は医師として身につけておくべきであるかと思われます。医師としての基礎を形成する重要な最初の2年間、将来の夢につながる第一歩を、是非に私達と一緒にスタートしてください。

皆さんの成長を期待しており、我々も皆さんと一緒に勉強してゆきたいと思っています。

(研修医 2 年目より)

研修医になり、早 1 年が過ぎました。初めは不安ばかりでしたが、医師・看護師・技師等医療に携わる多彩な職種の方々に、相談、助力、ご教授頂き、少しずつではありますが、自分の成長を感じています。当院は、300 床規模の病院ですが医師の数は 70 人前後と充実しています、標榜する科が揃っており、また科同士の垣根も低いので、患者様についての相談や他科紹介等がやりやすく、フィードバックも得やすいという点は大きなメリットだと感じます。また、病院の管理型研修医の募集人数は少ないですが、和歌山県立医大や神戸労災病院からの研修医も数か月単位で研修に来られるので、互いに知識、進路等の相談・雑談が出来るので、よい研修生活が送れると思います。

基幹型プログラム

基幹型(研修プログラム)

プログラムの特徴:

研修医の希望に沿った自由度の高いプログラムで、卒後 2 年間のローテーション方式とし、1 年目は内科、救急医療を必須とし、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科は選択必修、2 年目は地域医療を必須とし、整形外科(リハビリテーションを含む)、皮膚科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、放射線科は選択科とする。また和歌山研修ネットワークでの県内基幹病院での研修も可能である。

募集人数:

2 人

研修プログラム責任者名及び役職:

内科部長 中 啓吾

